

Youth Manna

マルコ1:35
さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2023/2/20(月)

創世記21:22-34

アブラハムは、アビメレクとその軍の長ピコルに対し、彼らの子孫を裏切らないこと、彼らと土地に対しても誠意を示すことを誓った(23-24)。アビメレクのしもべ達が奪い取った井戸の件でアブラハムが抗議したのは、この誓いによるものだと思われる(25-26)。そして、2人は契約を結んだ(27)。アブラハムは、誓ったことを誠実に果たした。

★主に信頼し善を行え。地に住み誠実を養え。(詩篇37:3)

今日、誰かと何かを約束する時に、約束したことを守ろう。また、もし守れない約束なら、その時点で断るのも相手への誠実さを示す1つの方法だよ。

2023/2/21(火)

創世記22章

神様はアブラハムに、愛するひとり子イサクを全焼のささげ物として献げなさいと命じた。イサクはアブラハムにとってどのような存在だったのだろうか。神様は最も大切な存在を自分の手から離すように命じたんだね。そして、アブラハムが本気で神様に従おうとしたのを見て、神様はどうされたのだろうか？11-18vをもう一度読もう！

この出来事は、私たちの救いのためにひとり子イエスを惜しまなかった天の父なる神様の大きな愛と恵みに僕らを導く。今静まって神様の愛について思い巡らそう。今日、君は神様の愛にどのような応答するかな？

2023/2/22(水)

創世記23章

アブラハムの最愛の妻サラがヘブロン地で死に、アブラハムは悲しみ、泣いた。そしてアブラハムは、その地にいたヒッタイト人に、私有の墓地を譲ってほしいというお願いをする。アブラハムは、神の約束の地にサラを葬ることを望んだのである。ヒッタイト人はアブラハムのうちに偉大な神がおられることを知っており、最上の墓地を与えると答えた。無償で与えるという彼らの申し出に対し、アブラハムは金を払い、正当な手続きで墓地を得ることを望んだ。そして、彼はサラを葬った。

クリスチャンにとっては、天の御国が所有地とされている(ヘブル11:16)。そのことに感謝し、祈ろう！

2023/2/23(木)

創世記24:1-27

今日の箇所は、アブラハムの息子イサクの妻となる人物をしもべが探しに行くところである。当然だが、創世記の時代の価値観は今と違いすぎていてこの方法が参考になるとか良いとかではなく、ここでは神様に従う者には神様が道を備えているということを見よう。

しもべは祈り求めると、祈り終わらないうちにリベカが現れる(15v)コップ1杯の水を下さい。ではなく、ものすごく水を飲むラクダが十頭もいるのだから用意することは簡単なことではない。それを見ず知らずのしもべに用意したリベカは相当人ができた人なのだろう。これはたまたまではなく、神様が導いてくださっている。

私たちにも神様のためにすべきことがある。神様の導きを心から祈り求め、生きよう！

2023/2/24(金)

創世記24:28-49

アブラハムのしもべは、主人の求めていた親族の娘リベカと出会うことができ、兄のラバンに家に迎え入れられた。しもべは神様がどのように自分を導いてくださったのかを証する。しもべには主の導きに確信があったけど、強引にリベカを連れて帰ることはせず、どうするかをラバンやリベカの判断に委ねたね。

神様の導きを感じたり、体験したりするとき、それを自分だけで抱え込まず、家族や家の教会の人たちと分かち合うことは大切なことだね。今、自分が導きが必要としていることのために祈ろう。そしてそのことを家族や教会のメンバーと分かち合おう！

2023/2/25(土)

創世記24:50-67

イエス様はたとえ話を使って、イエス様にこれから起こること、イスラエルの人々がこれからすることを伝えた。イエス様に自分たちがするであろう罪や、そうであってもイエス様が新しいイスラエルをたてあげる『要の石』とされることなどを言われ、これを聞いた人はイエス様をとらえようとしていたね…

自分の弱さや間違えていることを認めることは、勇気がいるよね。だけど、正直に認め助けを求める者を神様は受け入れ、応えてくださるんだ。自分の願い、思い、弱さ、失敗…神様の前ですべて正直でいよう！

2023/2/26(日)

創世記25:1-18

アブラハムは再び妻を迎え、6人の子が与えられた。アブラハムは全財産をイサクに与え、他の子たちには贈り物を与えて東方の国に行かせ、イサクから遠ざけた。カナンがイサクの子孫に与えられるという神様の約束を覚えての配慮である。

聖書はアブラハムの人生が175年であり、幸せな満ち足りた晩年であったと記す。アブラハムの人生は旅であった。いのちの危機を覚えたり、戦ったり、最愛の子のことで信仰を試されたり、悩んだり、まさに波乱の人生であった。しかし神様は、彼の最後に平安なひとときを与えた。すべての人は幸せで平安な晩年を願うだろう。しかし、恵みの神様に心から感謝できる晩年こそが、本当の意味での幸せな晩年なのである。祈り：神様、あなたを愛する人々に幸せな晩年をお与えください。